

笠間市移住  
ガイドブック

# 笠間 移住 計画

Have a  
happy life  
in Kasama!

かさまの暮らし<sup>イコール</sup>  
楽しい!

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

Have a  
happy life  
in Kasama!



巻頭特集 移住者インタビュー 1

かさまの暮らし イコール =

笠間に住む人たちの一日を覗いてみよう 6

かさまの暮らし。ある日の一日。

名物、名所など、魅力を紹介 8

笠間①

ごゆっくり。 10

移住の手続きや補助制度など 12

笠間に暮らすアレコレ

マップ・アクセス 16

移住者インタビュー

かさまの暮らし イコール = 

かさま といえば芸術の街。  
笠間焼を中心にギャラリーが多く点在します。

かさま といえば茨城県屈指の観光地。  
笠間稲荷神社に美術館、街巡りに最適です。

かさま といえば豊かな自然。  
四方を里山に囲まれて五感で四季を感じます。

かさま といえば住み良い街。  
交通、教育、暮らしに仕事、なんでも揃うからちょうどいい。

あなたにとっての「かさまの暮らし」とは？

「=」の先に見つけたものは、  
それぞれ・さまざま ありました。





## 家族、仕事、暮らし方 全てがリンクした再出発の場所

4年前に笠間へUターン移住  
そのきっかけは？

最初のきっかけは「家族」ですね。まずは子どもが産まれたこと。私は笠間の山の中で育ったので、自分と同じように、子どもたちにも泥んこまみれになって、笑って自由に遊べる環境を与えてあげたかった。それから親のこと。年を重ねるにつれ、そばに暮らして安心させたいと思っていました。

陶芸家になるということは、私にとって自然なことだったのかもしれないですね。父も陶芸家で、子どものころから当たり前のように父のモノ作りを手伝っていました。当時は何とも思っていないでいたが、今になって陶芸の魅力が少し解ってきた気がします。父はもうほぼ引退していますが、釉薬も天然原料を使うなど、伝統的な手法を大切にしていました。そんなクラシクなモノ作りを継いでいきたいという使命感も、どこかにあります。

笠間に暮らして良かったことは？  
特に陶芸をやるには、地域の理解もありませんし、近所に迷惑をかけずにのびのび作業できる場所に工房を構えることができたのも良かったですね。そうでありながら

もへんびな田舎ではない。少し行けばすぐ街中に出られるので、日々の生活に困らない。学校も病院も近くて、本当に「ちょうどいい」と思います。それから都心へのアクセスが良い。これから販路を広げる時にも東京から無理のない日帰り圏内というのは魅力でしょう。また、笠間は焼き物の産地なので陶器市やギャラリーが多

く、陶芸で生計が立てやすい環境といえます。これから陶芸を生業にしていこうという私たちにとって大きな利点ですね。

笠間での「再出発」と「これから」  
空家・空地バンクを利用して今の家に暮らして1年。工房を整備したり窯を導入したり、陶芸家として自立するための態勢がようや

く整って、まさに「これから」なんです。育児休業中でしたが妻も実は陶芸の先輩。これからは二人で同じ道を歩き始めます。それも楽しみです。自分がそうであったように、子どもたちも焼き物という家業やカントリーライフスタイルに巻き込んで、みんなでたくましく成長していければ、と思っています。



## かさまのくらし = Re-Start

陶芸家  
セレン  
のあさん  
39歳

笠間市出身。東京、神奈川で学生時代、編集者時代を過ごし、陶芸家へ転身。笠間に戻って4年。同じく陶芸家の妻・幸(のぞみ)さんと4歳の長男、2歳の長女、2匹の猫と暮らす。

## 子どもたちの未来につながる 暮らしの基礎を この笠間でつくりたい



かさまのくらし =

## 彩りのあそび場

笠間に移住して良かったことは？  
東京で生活しているとにかくいろんなことが分業されていて、便利なことが多いです。その点、笠間では自分でやらなければならないことが多い。ただ、それがむしろ精神的に良いんです。草刈りや新割りなど、単純作業ではありますが自然を肌で感じられることがとても心地良く、充実感があります。人が生活をする上で大切なことなのだと思います。東京から友達遊びに来たとき「田舎の方が色が多いね」と言われ

映像クリエイター  
もりした せいじ  
森下 征治さん  
44歳

岡山県岡山市出身。東京藝術大学を卒業後、映像制作の仕事に携わる。約20年間東京で暮らした後、現在仕事の拠点は東京としたまま、家族で笠間に移住して約1年半となる。

おすすめ！

アクセス良好! 都会との距離感が絶妙にいい!

友部駅からJR常磐線を利用すれば1時間10分程度で都心にアクセスできて通勤に便利。ガヤガヤとして人の多い都会から、里山の景色がどんどん広がっていく笠間への帰り道はとても良いスイッチの切り替えになります。



1.里山と家族に囲まれ、自宅でも落ち着いて仕事に取り組める。  
2.子どもたちが自由に貼り始めたという絵、のびのびと生活する姿が想像できる。

たことがあります。都会の方が色が多い気もしたのですが、もしかしら沢山の色が混ざりあってグレイがかってしまっているのかもしれないですね。笠間の自然は山の緑や土の色が一つ一つ際立っている。草花を間近で見ていると生え方にもちゃんと理由があるのだと新たな発見があり、仕事柄絵を描く際にその記憶が生かされています。

今後の笠間での目標は？  
笠間をもっと素敵な街にするために笠間の外、東京や世界へ魅力を発信していきたいです。この地域全体を活性化し、子どもたちにバトンを渡していければ。とは言え、子どもたちには一度家を出て外の世界を見てきて欲しいです。戻ってきたときには「やっばり笠間って良いよね!」と言ってもらえるような素敵な場所を残してあげたいと思っています。



1.笑いが絶えない仲良い家族。  
2.セレンさんの作品。釉薬も地のものを使って作っている。  
3.猫たちも仲良くのんびり日向ぼっこ。







笠間市地域おこし協力隊  
やなぎさわ あきら  
柳澤 明さん  
60歳

大手広告会社を早期退職後、笠間市地域おこし協力隊になるため、妻の幸子さん、マメルリハ(小鳥)のママちゃんと埼玉県より移住して3年。農業振興に従事している。

笠間市地域おこし協力隊に参加  
そのきっかけは？  
前職の広告会社で、教育や環境、農業などの分野で活躍していましたが、色々な人に取材する機会がありました。農業者や起業家など、個人としての価値を大切にしている面白い人たちでした。組織を離れてそんな「人」と向き合いたいと思っていた時に、地域おこし協力隊のことを知りました。笠間市に

決めたのは協力隊の募集に年齢制限がなかったこと、妻の実家が那珂市で近かったことがありま  
す。また、東京での仕事もあるの  
で、都内にも近いというメリット  
もありました。特急電車や高速バ  
スなど、手段が色々あって便利で  
すね。  
「まほろば」笠間の特質とは？  
「まほろば」は「素晴らしい場所」

所、「住み良い場所」という意味  
ですが、笠間の暮らしには「ハーモ  
ニー」がありバランスのよい生活が  
できます。里山に囲まれた自然の  
中に都市としての機能も程良く溶  
け込んでいて調和のある街です。  
生活のバランスがとれているのは  
笠間に暮らす人たちもそう。恵ま  
れた豊かな土地だからこそその寛大  
さと文化的な歴史の積み重ねが  
あって、多くの陶芸家やアーティ

ストを受け入れてきた街。そんな  
笠間ならではのオープンな気質が  
「まほろば」たる所以だと思います。  
地域おこし協力隊としての活動と  
これからのについて  
協力隊として、農業振興をテー  
マに3年間活動してきました。耕  
作放棄地を再生して栽培した笠間  
産のブドウのみで作るワインや、  
栗の花のハチミツなど、市農業公  
社や生産者の方とブランディング  
を考えながら商品開発や販路開  
拓、イベントなどを手掛けました。  
私の協力隊の任期は終わりますが、これからも「何かをやりたい」と思っている人のために、私が前職で培ったことを笠間で役立てられたらと思っています。生産者と消費者という立場を離れた生活者としての暮らし。そんな笠間的とも言える暮らし方の実現を目指しています。



柳澤さんも一緒にプロデュースした笠間のワイン「Mahoro Nova」。会員特典は赤・白各1本と笠間焼のペア酒器のセット。

おすすめです！  
**カフェ ナナイロ**  
  
笠間市地域おこし協力隊OBがオープンしたコミュニティカフェ。この4月から縁あって夫婦で後を引き継ぐ予定です。みなさんの憩いと交流の場になれば嬉しいです。



笠間のほどよい「緩さ」が生む  
本物の「住み良さ」

# かさまの暮らしニ まほろば



1.独特な風味が特徴の笠間の栗の花から採れたハチミツ。  
2.自家栽培野菜や旬の食材を使って作った彩り豊かなお弁当。幸子さんは得意のイラストで記録している。



かさまの暮らしニ

# つくる!!

面倒だと思ふことを  
物をつくる術を知る  
すばらしさに変えて

笠間のクラインガルテンに  
決めた経緯は？

主人も私も田舎暮らしに憧れていたのですが、全く農作業の経験がなく、いきなり行くのは不安もあったので、まず都内にある「ふるさと回帰支援センター」の相談ブースに行ってみました。そこでクラインガルテンのチラシを見つけてきました。当時はまだ会社員で、住んでいる横浜を拠点に田舎暮らしを模索していたので、茨城のクラインガルテンがちょうどはまった感じです。笠間に決めたのは、講習や農機具の使用が無料であることや、ラウベに空きがあることが分かったからです。すぐに申し込みをお願いしました。借りられたラウベは自分たちのお城ですから、何かを作ったり工夫したり、あえて面倒くさいことをしようと考えましたね。

笠間に暮らして良かったことは？


横浜の暮らしも不便がなく住みやすかったのですが、特にやることもなくて近所付き合いもなかったため、笠間で過ごすようになってからは、色々な方との交流を楽しんでいます。県外からやってきている自分たちに対してクライン



ラウベ前の畑で仲睦まじい夫婦の光景。

これからやってみたいことは？

縁あって笠間市内の空き家を借りられることになり、3月に引越す予定です。この2年でたくさんの方と知り合い、笠間が好きになり、移住を決めました。これからも地域の先輩方が続けてきたことをお手伝いしながら、受け継いでいく役割を担えたら。あと、趣味のパン作りを本格的にスタートして、小麦も酵母も自分が育てたものでやってみたいですね。野菜のハウス栽培にも興味があります。もし失敗しても、それも楽しみたいと思っています。

おすすめです！  
**笠間クラインガルテン**  
  
農業初心者でも無料で講習を受けられるので安心です。農機具の使用も無料なのが嬉しい！周りのご近所さんとの交流も楽しく、みんな持ち寄りでの飲み会なんてこともあります。夜は流星群が見え、夏でも夜は涼しく過ごせますよ。

笠間クラインガルテン  
ガルテナー  
みつはし みか  
三橋 美香さん  
48歳

住まいは横浜市で、笠間クラインガルテンのオーナー歴2年。週末のみ笠間へ通う生活を続けていたが、この3月から笠間市内に移住予定。市内でアルバイトもしている。ご主人、長女の3人家族。



1.農作物の栽培に使用する藁。冬越しに必要なアイテムのひとつ。  
2.三橋さんのラウベ入口前に建てられている表札。



森下さんちの場合。  
都内通勤 & 子育て世代

朝 MORNING 水曜日の朝は大人も子どもも大忙し!



征治さんは東京の会社へ、子どもたち3人はそれぞれ笠間市内の小学校と幼稚園へ向かいます。

昼 NOON パパは仕事!子どもは勉強と遊びが仕事!



週の半ばは頭の回転も冴えわたる!今日は早めに仕事を切り上げて、家に帰ろう!

夕 EVENING 友部駅から車で帰宅



駅から車で15分ほどで自宅に到着。都会とは全く違う笠間の雰囲気癒されて、みんなの忙しい平日が終わります。

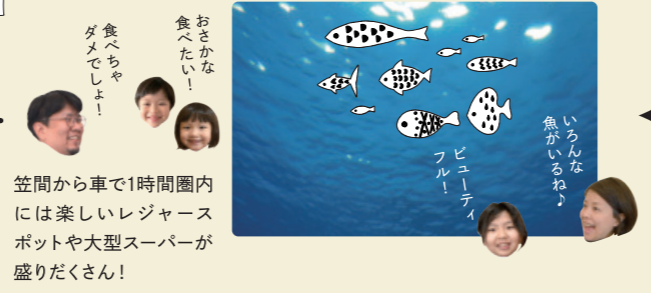
今日はカレーだよ!

休日 近くの公園で外遊びを思いっきり楽しむ



今日は笠間芸術の森公園内にある「あそびの杜」へ。子どもたちは広々とした敷地で走ったり遊具で遊んだり!

今日はちょっと車で市外の水族館へ



笠間から車で1時間圏内には楽しいレジャースポットや大型スーパーが盛りだくさん!

農産物直売所に寄って夕飯のお買い物



笠間の「JA常陸農産物直売所みどりの風」は地元の新鮮野菜が豊富にそろって安心安全。

夕飯は何が食べたい?

三橋さんちの場合。  
クラインガルテン 利用者

朝 MORNING 朝採れ野菜を使って朝ごはん!



朝収穫した野菜を使って朝ごはんにするのが定番。鍋で炊いたお米と一緒にいただきます。

昼 NOON 農業講習会に参加して勉強



農作物を植える時期や季節ごとにやること、なぜやるのかなどを教わる大事な時間です。

夕 EVENING 一日の終わりは夫婦で語らいのひととき



ひと息つきながら今日の作業を振り返ったり、明日の天気のことなどを話します。

柳澤さんちの場合。  
笠間で楽しむ セカンドライフ

朝 MORNING ペットのマメちゃんとのんびり過ごす朝



一緒に「移住」してきたマメルリハのマメちゃんは、大事な家族。マメちゃんとの触れ合いから一日が始まります。

昼 NOON 素敵なカフェに入れば夫婦の会話も弾む



笠間にはおしゃれなカフェや美味しいお店がたくさんあるから、二人のお出掛けが楽しくなるね。

夕 EVENING ギャラリーロードへ新しい笠間焼を探しに...



陶器などのギャラリーが軒を連ねるギャラリーロードへ。個性的な作品がズラリ。笠間焼ってやっぱりいいな~。



# Kasama's 笠間の

笠間は、歴史・文化・芸術が暮らしに息づく街。  
そんな「笠間の」さまざまな魅力をご紹介します。

Festival

## 祭り

伝統工芸、絶景、奇祭。  
年間を通して楽しめる  
お祭りやイベントもいろいろ。



**笠間の菊まつり** かさまのきくまつり  
100回以上開催されている日本最古の菊の祭典。笠間稲荷神社をメイン会場に、約1万鉢の菊の花が市内を彩ります。【場所】笠間稲荷神社ほか  
【時期】10月中旬～11月下旬



**悪態まつり** あくたいまつり  
参拝者が悪態を浴びせ、お供え物を奪い合い無病息災や家内安全を願う奇祭。【場所】愛宕神社、飯綱神社  
【時期】12月第3日曜日



**笠間つつじまつり** かさまつつじまつり  
笠間つつじ公園の小高い山に植えられたつつじが山一面を真っ赤に染める様子は、まさに絶景！【場所】笠間つつじ公園  
【時期】4月中旬～5月上旬



**かさま新栗まつり** かさましんくりまつり  
新栗の試食や、栗菓子の販売、栗拾い体験や栗のゲームなどが催され、家族連れも楽しめます。【場所】笠間芸術の森公園  
【時期】9月下旬または10月上旬



**笠間の陶炎祭** かさまのひまつり  
毎年ゴールデンウィークに開催される大陶器市。約200人の作家や窯元の個性豊かな陶芸作品に出会えます。様々なイベントが開催されるほか、グルメ店も並びます。【場所】笠間芸術の森公園  
【時期】4月29日～5月5日

Food

## 食

風土が育む自然の恵み。  
笠間の魅力に「おいしい！」  
は欠かせない。



**笠間の栗** かさまのくり  
笠間は栽培面積、栽培農家戸数ともに全国1位を誇る栗の名産地。秋にはおいしい栗を味わうことができます。



**常陸秋そば** ひたちあきそば  
笠間市内には茨城県産のおいしい常陸秋そばを提供するそば屋が多くあります。



**笠間いなり寿司** かさまいなりずし  
笠間のご当地グルメ。そばいなりや胡桃いなりなどバリエーション豊かで、食べ比べても楽しい。



**笠間市地酒を笠間焼で乾杯する条例**  
かさましじげを  
かさまやきでかんぱいするじょうれい  
笠間の地酒と笠間焼の  
マイ猪口で乾杯しよう！



**地酒** じげ  
笠間市には歴史ある4つの酒蔵があります。それぞれの酒蔵が造るおいしい日本酒を味わえます。

Exchange

## 交流

笠間市内にはキレイで新しい交流スポットが続々誕生！地元の人たちとの交流が生まれる場です。



**笠間市地域交流センターいわま(あたご)**  
かさましちいきこうりゅうセンターいわま(あたご)  
多目的ホール、健康ふれあいルームなどがあり、地域のコミュニティ活動交流の場として幅広く利用されています。【住所】笠間市下郷4438-7



**かさま歴史交流館井筒屋** かさまれきしこうりゅうかんいづつや  
明治中期建築の木造3階建ての歴史ある建物。元々は旅館だった井筒屋が、歴史や観光情報を発信し、人々が交流できる場として生まれ変わりました。【住所】笠間市笠間987



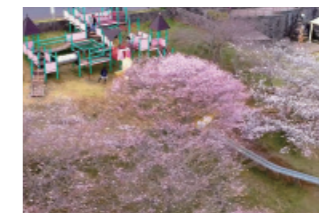
Play

## 遊び

里山に囲まれた豊かな緑の中で、自然と触れ合いのびのび遊べる公園が、たくさんあります。



**笠間芸術の森公園 あそびの杜**  
かさまげいじゆつのもりこうえん あそびのもり  
広大な笠間芸術の森公園内にあります。巨大ローラーすべり台やふわふわドームなど、子どもが遊ぶ遊具がたくさん！【住所】笠間市笠間2345



**あたご天狗の森**  
あたごてんぐのもり  
標高306mの愛宕山に広がる公園。景色もよく、山の起伏を利用した長いローラーすべり台が人気。春には桜の名所となります。【住所】笠間市泉



**北山公園**  
きたやまこうえん  
パノラマ展望台やバーベキュー場、ローラーすべり台、オートキャンプ場を併設。園内の池を囲む遊歩道も整備されており、夏には蜚の姿も。【住所】笠間市平町1416-1

Shrine

## 神社

笠間市内には、由緒ある神社があります。厳かな空気の中で、その歴史を感じられるはず。



**笠間稲荷神社**  
かさまいなりじんじや  
日本三大稲荷の一つ。五穀豊穡や商売繁盛の神様として有名です。初詣には多くの参拝客で賑わいます。【住所】笠間市笠間1



**笠間稲荷門前通り**  
かさまいなりもんぜんどおり  
稲荷神社前の土産物店や飲食店がズラリと並ぶ石畳の通り。



**常陸国出雲大社**  
ひたちものくにいづもたいじや  
日本最大級のしめ縄が圧巻。縁結びの神様として人気です。境内にはガラス工房やギャラリーがあります。【住所】笠間市福原2001



**合気神社** あいきじんじや  
合気道の開祖 植芝盛平翁が合気道を完成させた地として創建したとされています。【住所】笠間市吉岡27-1



**茨城県陶芸美術館**  
いばらきけんとうげいびじゆつかん  
笠間芸術の森公園内にある陶芸専門の美術館。貴重な陶芸作品を常設しているほか、様々な企画展が開催されます。【住所】笠間市笠間2345



**笠間日動美術館** かさまにちどうびじゆつかん  
近現代における洋画を中心に展示する美術館。3つの展示館があり、中心部には野外彫刻庭園が広がっています。【住所】笠間市笠間978-4



**ギャラリーロード**  
笠間焼を始めとするギャラリーや飲食店が並び通り。

Art

## 芸術

「芸術のまち」と称される笠間市。陶芸家たちも多く住む焼き物の街で、アートに触れる。



**春風萬里荘** しゅんぷうばんりそう  
日動美術館の分館で、北鎌倉より移築した薫葺屋根の北大路魯山人旧宅。【住所】笠間市下市毛1371-1



**笠間焼** かさまやき  
国の伝統的工芸品の一つ。自由な気風がその特徴で、作家それぞれにより個性豊かな作品が生まれています。



日本を代表する建築家 伊東豊雄氏が設計した陶芸家 故・里中英人氏のアトリエ兼住居。日本建築家協会新人賞受賞作品。現在はギャラリー、創作工房、カフェとして開放されています。

ゆっくりと。

笠間の時間は、ずっと変わらずのんびり・ゆったり流れていく。忙しい外の世界はお構いなしに「ゆっくり過ぐす」ということを許してくれるかのように。

笠間にカフェが多いのはそのせいかもしれない。  
ナチュラルだったり  
スタイリッシュだったり  
古民家だったり  
その個性はさまざまだけど  
おんなじなのは  
「ゆっくり過ぐす」を  
楽しむということ。

ゆっくりと流れる時間の中で  
会話が弾む、笑顔が増える  
大事なことに、きつと気づける。





# 笠間に暮らすアレコレ

## 笠間で 仕事をする

新たな事業を興す人、笠間焼の陶芸家やものづくり作家を目指す人へ  
様々な支援制度を行っています。

### 創業支援事業

地域経済を活性化させる創業を促進するため、笠間市では、「笠間市創業支援事業計画」を策定し、笠間市商工会等の関係機関と連携しながら、笠間市における創業をお考えの方々を支援します。

**笠間市創業支援事業計画とは？** 平成26年1月の産業競争力強化法施行に伴い、笠間市においても地域における創業を促すべく策定した事業計画で平成27年10月2日には国（経済産業省・総務省）の認定を受けました。

- **主な事業内容**  
ワンストップ相談窓口  
笠間市商工課及び笠間市商工会にて、創業に関する相談を受け付けます。
- **その他のメリット**  
笠間市創業支援事業計画が国の認定を受けたことにより、笠間市において創業を予定している方、又は創業後間もない（5年以内）の方は、創業・第二創業補助金（中小企業庁による補助金。補助金額は100万円から）や、登録免許税軽減や創業関連保証枠拡充等の優遇策を活用することもできます。  
※ただし、活用には審査や条件があります。詳しくはお問い合わせください。

創業支援について詳しくは、笠間市のHPをご覧くださいませ。 [笠間市 創業支援](#)

## 笠間焼産地後継者育成補助金

国の伝統的工芸品であり、地場産業である笠間焼の担い手を育成し、振興を図ります。

補助事業の種類	対象者	対象経費	補助率【限度額】
生活支援事業	笠間陶芸大学校在籍者	住居の賃借に要する費用	1/4以内【月1万円】
創作活動支援事業	笠間陶芸大学校修了後3年未満の者 旧窯業指導所修了後3年未満の者	窯、ろくろ等設備購入に要する費用	1/2以内【30万円】 ※1回限り
	笠間陶芸大学校在籍者、笠間陶芸大学校修了後5年未満の者、旧窯業指導所修了後5年未満の者	公募展への出品に要する費用	定額【1万5千円】 ※年度につき1回限り
研修支援事業	市内在住の陶芸家	笠間陶芸大学校または旧窯業指導所を修了した者の雇用に要する費用	1/2以内【月5万円】 ※最長3年間
創業支援事業	新規創業者、他地域から転入する陶芸家	窯、ろくろ、土練機等、設備購入に要する費用 工房等の制作施設の修繕に要する費用	1/2以内【50万円】 ※1回限り

**茨城県立笠間陶芸大学校**  
平成28年4月より、「茨城県工業技術センター窯業指導所」は「茨城県立笠間陶芸大学校」に移行し、人材育成により力を注ぐ機関になりました。  
<http://www.kougise.pref.ibaraki.jp/tougeidai/>

## ものづくり作家創業支援事業補助金

芸術及び文化の振興による商工業の活性化を図ります。

**補助対象者** 笠間市内で創業するものづくり作家 ※補助を受ける際には要件がありますので、詳細はお問い合わせください。

**ものづくり作家とは** 日本標準職業分類に掲げる小分類「221 彫刻家」「222 画家、書家」「223 工芸美術家」のいずれかに該当する者。

補助事業の種類	対象経費	補助率【限度額】
住居または工房の家賃補助	住居または工房の賃借に要する費用（敷金、礼金、共益費及びこれらに類する経費を除く）	1/4以内【月1万円】 ※1年以内
建物または土地付建物購入補助	市内に住居または工房として使用する建物または土地付建物の取得に要する費用	取得費の1/10以内【50万円】 ※各自1回限り
創作施設修繕補助	工房の修繕に要する費用	1/2以内【50万円】 ※各自1回限り
設備購入補助	創作活動に必要な設備の購入に要する費用	1/2以内【30万円】 ※各自1回限り

お問合せ | 笠間市 産業経済部 商工課 ☎ 0296-77-1101

## 笠間で 住居を探す

空家を活用した制度や補助で、エコ&スロウな暮らし。  
自分流にリノベーションして、夢も広がる。

### 移住体験施設「かさちょこHOUSE」



「笠間への移住を考えているけど、実際の生活について不安を感じている」という方に、一定期間滞在し笠間の暮らしを体験できる空家を利用した住居「かさちょこHOUSE」をご用意しています。

観光に訪れただけでは味わうことができない、住んでみたらこそわかる笠間の魅力や生活環境の良さを体験できます。

住所	茨城県笠間市笠間地内	建築年	平成16年	構造	木造平屋建（2DK）	ライフライン	電気、井戸水、合併浄化槽、給湯器
備品	バス、トイレ、キッチン、エアコン、冷蔵庫、炊飯器、レンジ、調理器具（IH）、食器（笠間焼）、掃除機、洗濯機、テレビ、インターネット（Wi-Fi）など						

- **利用するにあたって**
- | 対象者                                    | 期間      | 利用料  |
|--|---------|--|
| 笠間市外に在住し、笠間市への移住を検討されている方（申請者は20歳以上の方） | 4日から4週間 | 1組につき、1泊2,000円（光熱水費込み）<br>※このほか、食費や交通費、生活に必要な消耗品等は自己負担となります ※施設内の備品は使用できます |

お問合せ | 笠間市 市長公室 企画政策課 ☎ 0296-77-1101

### 笠間市「空家・空地バンク」制度

市内の空家及び空地の有効活用を通して、良好な住環境の確保や定住及び定期的な滞在の促進による地域の活性化を図るとともに、生活環境の保全を推進するため、「空家・空地バンク制度」を実施しています。

**空家・空地バンクとは？** 売却や賃貸を希望する所有者から申し込みを受けた市内の空家・空地情報を登録し、利用希望者（笠間市に定住または定期的な滞在を目的として、笠間市空家・空地バンクに登録された空家・空地の利用を希望する方）に情報提供をする制度です。

※物件の売買、賃貸借に関する交渉や契約等の仲介は宅地建物取引業者等に依頼するため、市は関与致しませんので、あらかじめご了承ください。

- **申込方法**  
「笠間市空家・空地バンク利用登録申込書（様式第8号）」、「誓約書（様式第9号）」に必要事項を記入のうえ、都市計画課へ提出してください。  
※申込書は窓口設置のほか、笠間市HPからもダウンロードできます。

現在の空家・空地バンク物件情報は、笠間市のHPをご覧くださいませ。 [笠間市 空家・空地バンク](#)

### 笠間市空家活用支援補助金について（空家のみ）

空家・空地バンクの利用促進を目的とし、空家・空地バンクに登録されている空家を修繕する方及び空家を取得または賃借する方に対し、予算の範囲内において、笠間市空家活用支援補助金を交付します。

補助金の種類	対象者	対象経費	補助率【限度額】
空家の修繕に関する補助金	●空家・空地バンク登録物件の個人所有者 ●空家・空地バンク登録物件に入居する方（住民登録をすること）	住宅の機能や性能を維持または向上させるために、登録物件の一部を修繕、補修、取替え等を行う費用	修繕費用の2分の1以内【50万円】
空家の利用に関する補助金	笠間市空家・空地バンク登録物件を取得または賃借した方 ※物件に5年以上居住すること	笠間市空家・空地バンク登録物件の取得または賃借に要する費用	取得の場合 取得対価の3%以内【30万円】
			賃借の場合 家賃2か月分に相当する額【10万円】

※補助を受ける際には上記以外に要件がありますので、詳細についてはお問い合わせください。

お問合せ | 笠間市 都市建設部 都市計画課 空家政策推進室 ☎ 0296-77-1101



笠間で **子育てを楽しむ** 子育てを家族を応援！親子で参加して、仲間と一緒に楽しもう。

**笠間市子育て世代包括支援センター「みらい」**



子育てをはじめの方のための総合案内窓口として、妊娠、出産、子育ての相談に応じたり、必要なサービスを紹介します。また、妊産婦さんの集える場もつくりました。まずはお電話ください。

- 妊娠が分かったら、できるだけ早く産科医療機関を受診し、保健センターで母子健康手帳の交付を受けましょう。
- 必ず定期的に受診して、赤ちゃんの元気な様子を確認しましょう。
- 妊娠中や産後のマニティブルー時も、気軽にご相談ください。



● ご相談 笠間市子育て世代包括支援センター「みらい」(地域医療センターかさま内) ☎0296-78-3155

**子育て支援センター「みつばち」「かんがるー」「くりのこ」** 対象：未就学児と保護者

子育ての不安を緩和し、子どもの健やかな育ちを応援するため、気軽に集まり、交流を図る場を提供します。育児情報の提供、子育て相談、育児講座の実施、子育てサークルの支援等を行います。

<p><b>子育て支援センター「みつばち」</b></p> <p>曜日 月曜～金曜 時間 10時～12時/13時～16時 休み 祝日・お盆・年末年始 場所 かさまこども園 お問合せ かさまこども園 ☎0296-71-5858</p>	<p><b>子育て支援センター「かんがるー」</b></p> <p>曜日 月曜～金曜 時間 9時～12時/13時～16時 休み 年末年始 場所 笠間市児童館「笠間キッズ館」 お問合せ 笠間キッズ館 ☎0296-77-8340</p>	<p><b>子育て支援センター「くりのこ」</b></p> <p>曜日 月曜・水曜・木曜・金曜 時間 10時～12時/13時～16時 休み 祝日・お盆・年末年始 場所 市民センターいわま1F お問合せ 子ども福祉課 ☎0296-77-1101</p>
--	--	---

**笠間市児童館「笠間キッズ館」** 対象：0歳～18歳(未就学児は保護者同伴)

児童の健全育成や子育て支援のための施設です。自由に利用でき、年間を通して楽しいイベントも開催。子育てに不安を持つ保護者の相談にも応じています。

開館日 毎日 開館時間 9時～18時 休み 年末年始 所在地 笠間市南友部1966-140  
● お申込み・お問合せ 笠間キッズ館 ☎http://kasamacity-kidskan.com/ ☎0296-77-8340

お問合せ | 笠間市 保健福祉部 子ども福祉課 ☎0296-77-1101

笠間で **教育を考える** 明日を担う笠間の子どものために、様々な教育事業に取り組んでいます。

**英語教育強化推進事業**

小・中・義務教育学校へALT(外国語指導助手)を配置し、夏季英語集中プログラム、サマーイングリッシュフェスティバルを開催しています。また、小学5・6年生と中学生に対して英語検定受験料の一部助成など、小・中・義務教育学校の英語教育環境の充実を図っています。

**算数・数学学力向上支援事業**

小・中・義務教育学校を対象に、算数・数学の学力向上を目的として支援員を配置します。児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導で、学力向上を支援します。

**寺子屋事業**

小学校5・6年生を対象に、学びの機会を提供します。学校休業日に国語・算数・ALTによる英語の授業を行い、学ぶ楽しさの体感を通じて習慣化し、学力と学習意欲の向上を目指します。

お問合せ | 笠間市 教育委員会 学務課/生涯学習課 ☎0296-77-1101

笠間市の**子育て**や**教育**については「かさまぽけっと」HPをご覧くださいませ。☎ http://www.kasama-pocket.jp/

笠間で **農業** を始める 地域農業の担い手として、認定新規就農者の育成を図っています。

**農業担い手育成支援**

後継者や新しく農業を始める方のために、農業技術・経営の支援や農業・農村の実情、各種事業等の情報提供など、様々な支援を行っています。

補助事業の種類	対象者 ※いずれも就農時の年齢が45歳未満で認定新規就農者または認定を受ける見込みのある者	助成金【限度額】
樹園地継承支援事業	果樹農家を旨とした研修受講者	年間120万円 ※最長2年間
担い手対策強化促進事業(長期研修助成)	就農予定で研修する農家後継者	月額5万円 ※最長2年間
新規就農者農業機械・農業施設等導入支援事業	認定新規就農者	事業費の1/2以内 【300万円】

**笠間クライנגルテン**



おしゃれなロッジの宿泊施設付き市民農園で農業体験。利用者を対象とした農機具の貸出しや農業講習も行っていきます。二地域居住の「週末農家」を楽しめます。

全50区画(1区画300㎡)  
● 利用料 年間約41万円/1区画 ● 利用期間 1年間(最長5年間更新可)

お問合せ | 笠間市 産業経済部 農政課 ☎0296-77-1101

笠間で **健康** に生きる 医療や福祉、健康設備も充実した笠間市。健康で安心な生活をサポートします。

**かさまヘルスロード**

笠間市内には、いばらきヘルスロードに指定された11のコースがあります。誰もが気軽に安全に歩ける魅力ある楽しいウォーキングコースで、日頃は気がつかない笠間の自然や歴史を感じることができるよう。健康づくりやリフレッシュなど、目的に合わせて歩こう♪ ※かさまヘルスロードマップは、笠間市役所本所、各支所、保健センターで配布しています。

**緊急医療**

救急の患者さんに対して、日曜・平日夜間も診療が受けられるよう初期救急体制があります。

月曜日～金曜日(祝日・12/31～1/3を除く) 19時～21時 笠間市立病院	日曜日(12/30～1/3を除く) 9時～17時 笠間市立病院	祝日・年末年始(12/30～1/3) 9時～17時 市内当番医療機関
--	------------------------------------	---------------------------------------

※受付前には電話確認をお願いします。 ※当番医療機関は変更になることもありますので、電話で確認してください。

<p><b>急な病気で心配なとき・医療機関をお探しのとき</b></p> <p>24時間対応</p> <table border="1"> <tr> <td>茨城おとな救急電話相談</td> <td>プッシュ回線 #7119 または ☎03-5367-2365</td> </tr> <tr> <td>茨城子ども救急電話相談</td> <td>プッシュ回線 #8000 または ☎03-5367-2367</td> </tr> </table>	茨城おとな救急電話相談	プッシュ回線 #7119 または ☎03-5367-2365	茨城子ども救急電話相談	プッシュ回線 #8000 または ☎03-5367-2367	<p><b>県内の医療機関に関する情報</b></p> <p>茨城県救急医療情報システム ☎https://www.qq.pref.ibaraki.jp/</p>
茨城おとな救急電話相談	プッシュ回線 #7119 または ☎03-5367-2365				
茨城子ども救急電話相談	プッシュ回線 #8000 または ☎03-5367-2367				

お問合せ | 笠間市 保健福祉部 健康増進課 ☎0296-77-9145

**地域医療センターかさま**



地域医療センターかさまは、笠間市立病院、健康増進課(保健センター・子育て世代包括支援センター)、地域包括支援センターが一緒になった施設として、平成30年4月にオープンしました。医療・保健・福祉が連携し、みんなの相談室(メディカルCafe)やファミリー健康体験(キッズドクター・キッズナース)、講演会等のさまざまな事業を実施しています。また、病院内に病児保育室を併設しています。

お問合せ | 笠間市立病院 ☎0296-77-0034





# アクセス

空路から、陸路からアクセスしやすく便利です！

## 茨城空港運航便

- 国内線**
- 札幌
  - 神戸
  - 福岡
  - 那覇
- 国際線**
- 上海
  - 台北
  - ソウル

## 笠間 から 茨城空港 まで

### バス + 電車

水戸駅経由  
友部駅 -- 常磐線 --> 水戸駅 -- 連絡バス --> 茨城空港 約1時間

羽鳥駅経由  
友部駅 -- 常磐線 --> 羽鳥駅 -- 連絡バス --> 茨城空港 約1時間

### 車

北関東自動車道 友部ICから 約30分

旅行も  
しやすい♪



茨城空港までのアクセスも良いので、国内旅行も、海外旅行も身近に。



## 笠間 から 東京 まで

### 高速バス

関東やきものライナー  
平日は1日6便、土日祝は1日7便運行  
笠間市内から秋葉原 約1時間50分

- 笠間市内の停留所
- 笠間ショッピングセンター
  - 笠間稲荷神社入口
  - 笠間駅前
  - やきもの通り
  - 笠間手越

### 電車

特急「ときわ」号  
友部 <-> 上野・東京・品川

品川まで	約1時間30分
東京まで	約1時間10分
上野まで	約1時間

### 車

北関東自動車道・常磐自動車道  
友部ICから東京 約1時間30分

都心への  
通勤可能！



友部駅は特急も停車するので、日々の生活で都心への往来も可能です。



# 笠間市内マップ

市内は観光名所だけでなく、公共施設や公園なども充実しています。

人口 74,879人 (H31.2.1現在)  
面積 240.4km<sup>2</sup>

都心からの  
アクセス良好。  
住みやすいまち、  
笠間。

## かさま観光周遊バスのご案内

友部駅を出発し、笠間工芸の丘、茨城県陶芸美術館、笠間日動美術館、笠間稲荷神社、春風萬里荘など笠間の主要観光施設を巡り、友部駅へ戻る周遊バスです。まずは周遊バスで笠間をぐるっと一周してみたいはいかがでしょうか？

所要時間	50分	運賃	1回の乗車…100円 / 1日フリー乗車券…200円
------	-----	----	----------------------------

詳しくは笠間観光協会のかさま観光周遊バスのページをご覧ください。 [http://www.kasama-kankou.jp/kasama\\_bus/](http://www.kasama-kankou.jp/kasama_bus/)

